

「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 1

この調査は、市民のオンライン学習の経験や興味、希望などを問うことで、現状の課題やニーズを具体化し、より多くの方にオンラインサービスの恩恵を受けてもらうために必要な方策について探ることを目的とするものです。

ご協力いただきました市民の皆様、及びご指導をいただきました関係各位に深く感謝し、お礼を申し上げます。

令和4年3月

千葉市生涯学習センター 所長 遠藤 悟

1. 調査方法

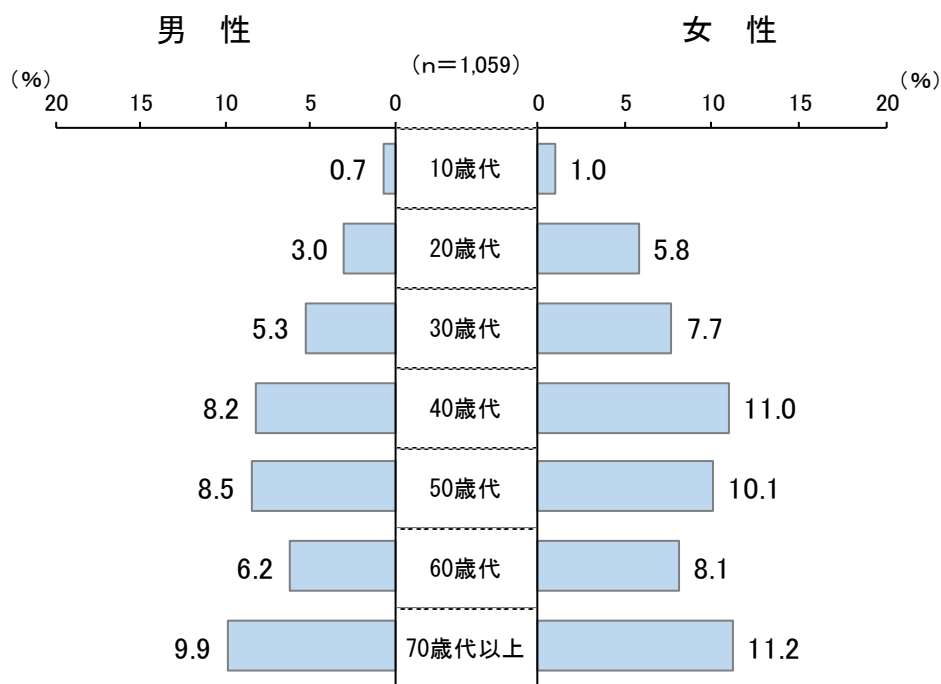
- (1) 調査対象：千葉市在住の18歳以上の方、2,500人を無作為に抽出
- (2) 調査方法：メール便配付・郵送回収
- (3) 調査期間：令和3年9月1日～10月1日
- (4) 有効回収数：1,059
- (5) 有効回収率：42.4%

✓ 注意事項

調査結果のコメントは、全体平均と比べて統計的に有意差のあるものを中心にふれている。なお、グラフの中で全体と比べ高い有意差のある数値は枠で囲って表現している。

2. 回答者

● 性・年代



※ 無回答(3.2%)

「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 2

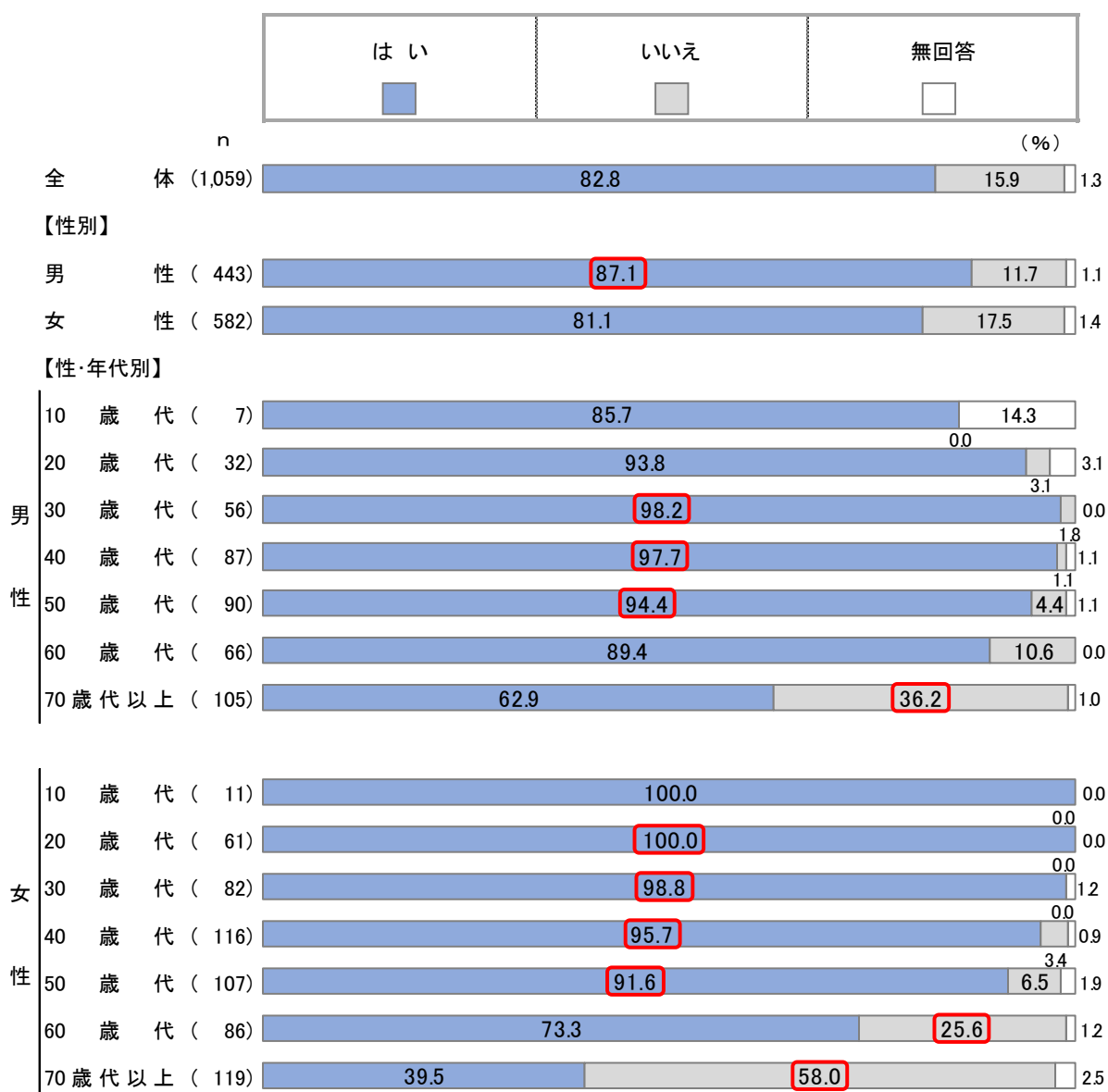
3. 要約

(1) オンライン学習の環境について

① インターネットの利用有無【全体、性別、性・年代別】

問 あなたはインターネットを利用することができますか。(単一回答)

全体では、「はい」は82.8%、「いいえ」は15.9%となっている。
 性別で見ると、「はい」は男性が87.1%と高く、有意差が見られた。
 性・年代別で見ると、「はい」は男性の30歳代(98.2%)、40歳代(97.7%)、50歳代(94.4%)と、女性の20歳代(100.0%)、30歳代(98.8%)、40歳代(95.7%)、50歳代(91.6%)で高く、それぞれ有意差がみられた。
 また、「いいえ」は女性の70歳代以上で58.0%と最も高く、男性の70歳代以上で36.2%、女性の60歳代で25.6%と続き、それぞれ有意差が見られた。

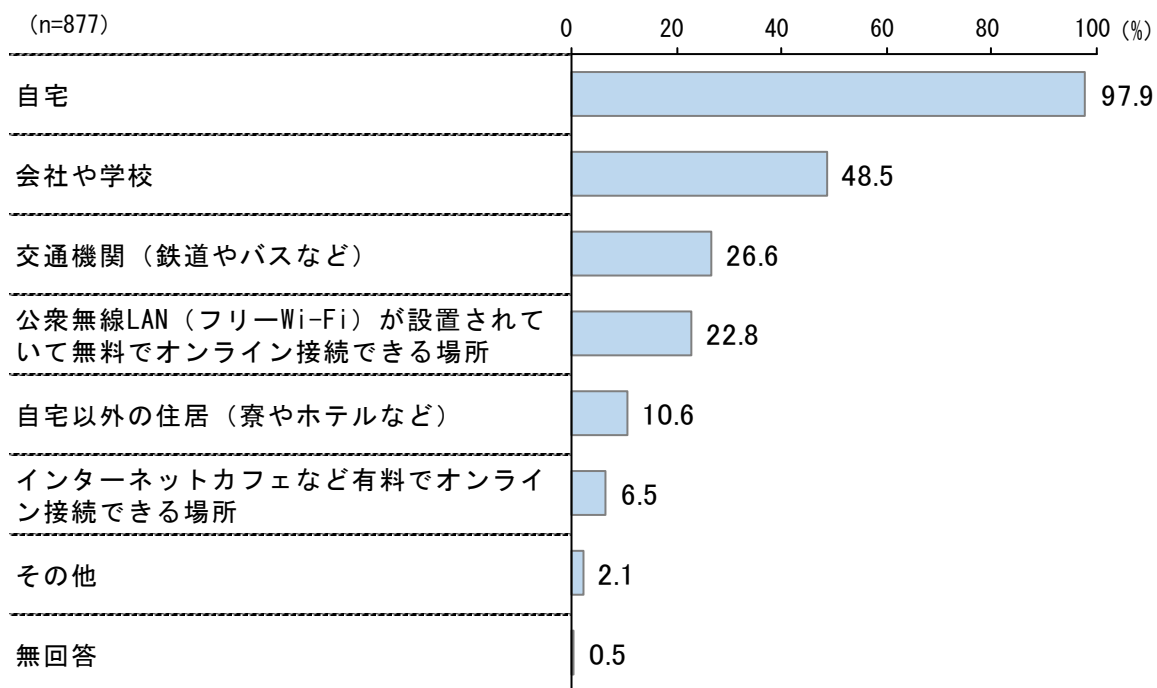


「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 3

② インターネットの接続場所【全体】

問 ①利用有無で「はい」とお答えの方におたずねします。あなたがインターネット接続している場所はどちらですか。（複数回答）

「自宅」が97.9%と最も高く、次いで「会社や学校」（48.5%）、「交通機関（鉄道やバスなど）」（26.6%）、「公衆無線LAN（フリーWi-Fi）が設置されていて無料でオンライン接続できる場所」（22.8%）と続いている。



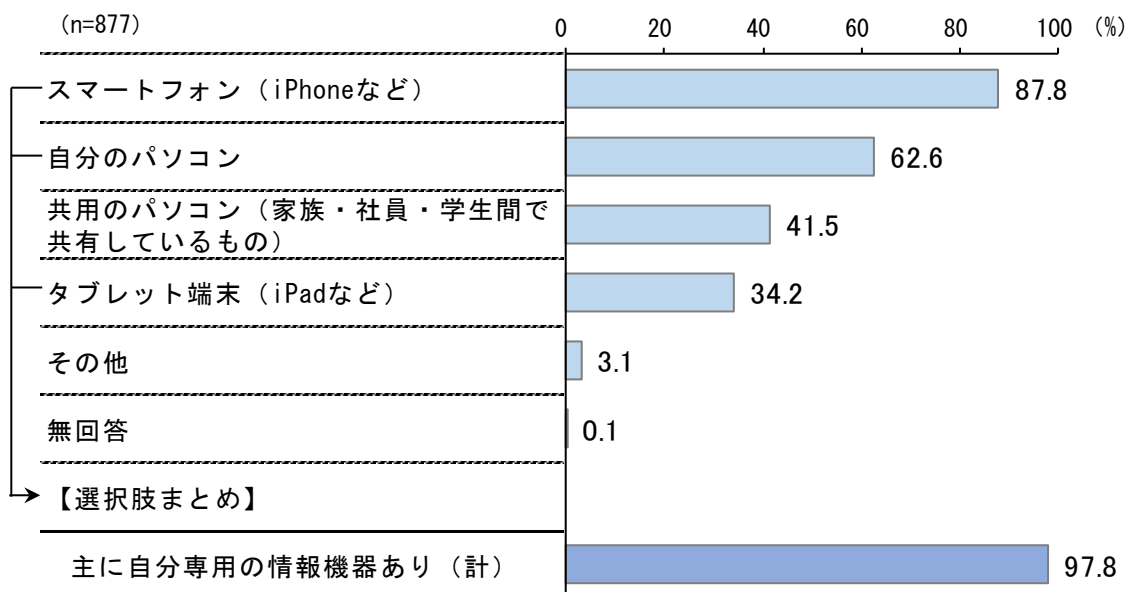
「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 4

③ インターネットの接続時に利用可能な情報機器【全体】

問 ①利用有無で「はい」とお答えの方におたずねします。あなたがインターネット接続するときにご利用できる情報機器はどちらですか。（複数回答）

「スマートフォン（iPhoneなど）」が87.8%と最も高く、次いで「自分のパソコン」（62.6%）、「共用のパソコン（家族・社員・学生間で共有しているもの）」（41.5%）、「タブレット端末（iPadなど）」（34.2%）と続いている。

また、「スマートフォン（iPhoneなど）」（87.8%）、「自分のパソコン」（62.6%）、「タブレット端末（iPadなど）」（34.2%）の3つを合わせた『主に自分専用の情報機器あり（計）』は97.8%となっている。



注) 『主に自分専用の情報機器あり（計）』は、「スマートフォン（iPhoneなど）」、「自分のパソコン」、「タブレット端末（iPadなど）」の3つの選択肢をまとめている。

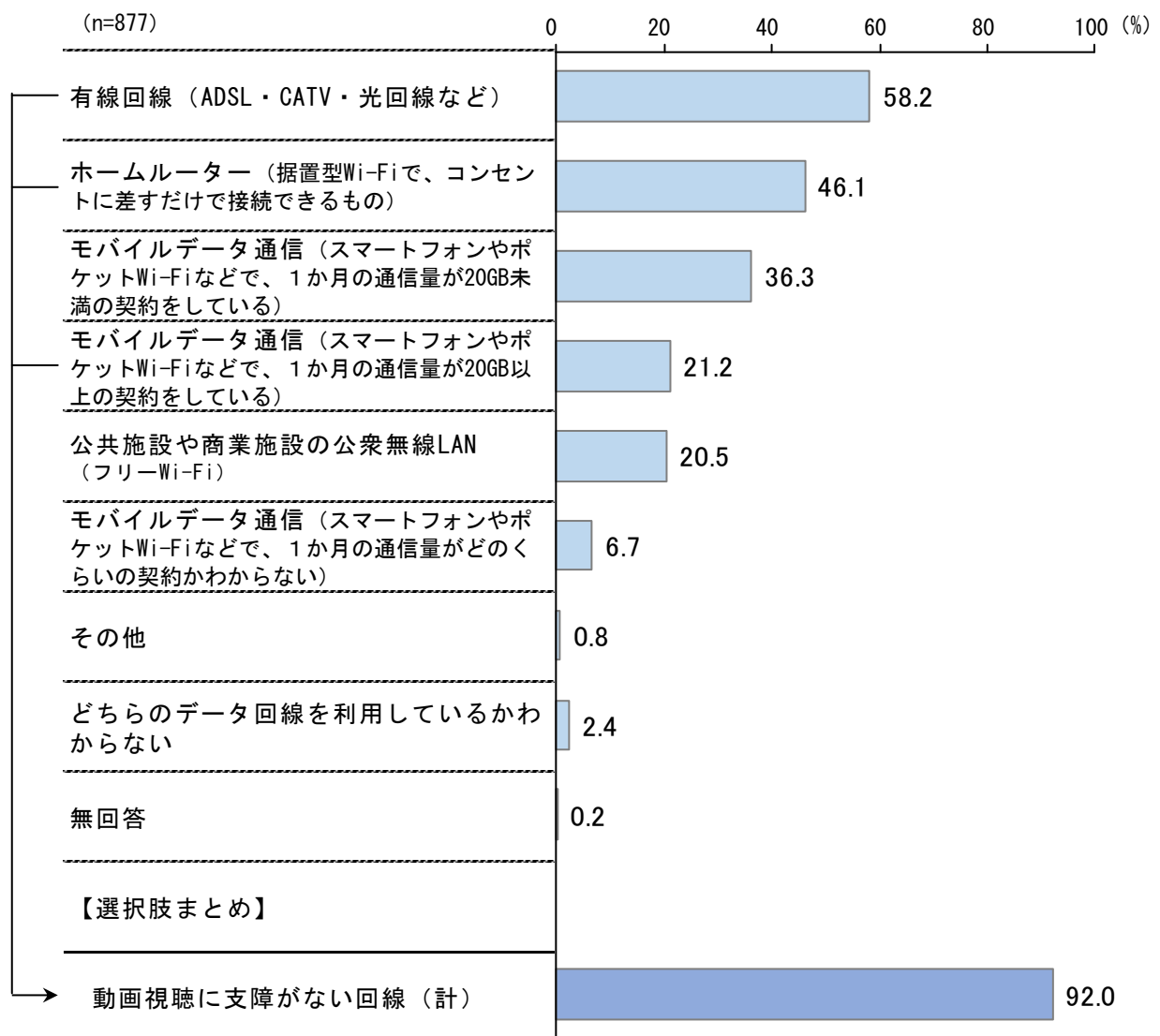
「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 5

④ インターネットの接続時に利用しているデータ回線【全体】

問 ①利用有無で「はい」とお答えの方におたずねします。あなたがインターネット接続するときに利用しているデータ回線はどちらですか。（複数回答）

「有線回線（ADSL・CATV・光回線など）」が58.2%と最も高く、次いで「ホームルーター（据置型Wi-Fiで、コンセントに差すだけで接続できるもの）」（46.1%）、「モバイルデータ通信（スマートフォンやポケットWi-Fiなどで、1か月の通信量が20GB未満の契約をしている）」（36.3%）、「モバイルデータ通信（スマートフォンやポケットWi-Fiなどで、1か月の通信量が20GB以上の契約をしている）」（21.2%）と続いている。

また、「有線回線」（58.2%）、「ホームルーター」（46.1%）、「モバイルデータ通信（1か月の通信量が20GB以上の契約）」（21.2%）の3つを合わせた『動画視聴に支障がない回線（計）』は92.0%となっている。



注) 『動画視聴に支障がない回線（計）』は、「有線回線」、「ホームルーター」、「モバイルデータ通信（1か月の通信量が20GB以上の契約）」の3つの選択肢をまとめている。

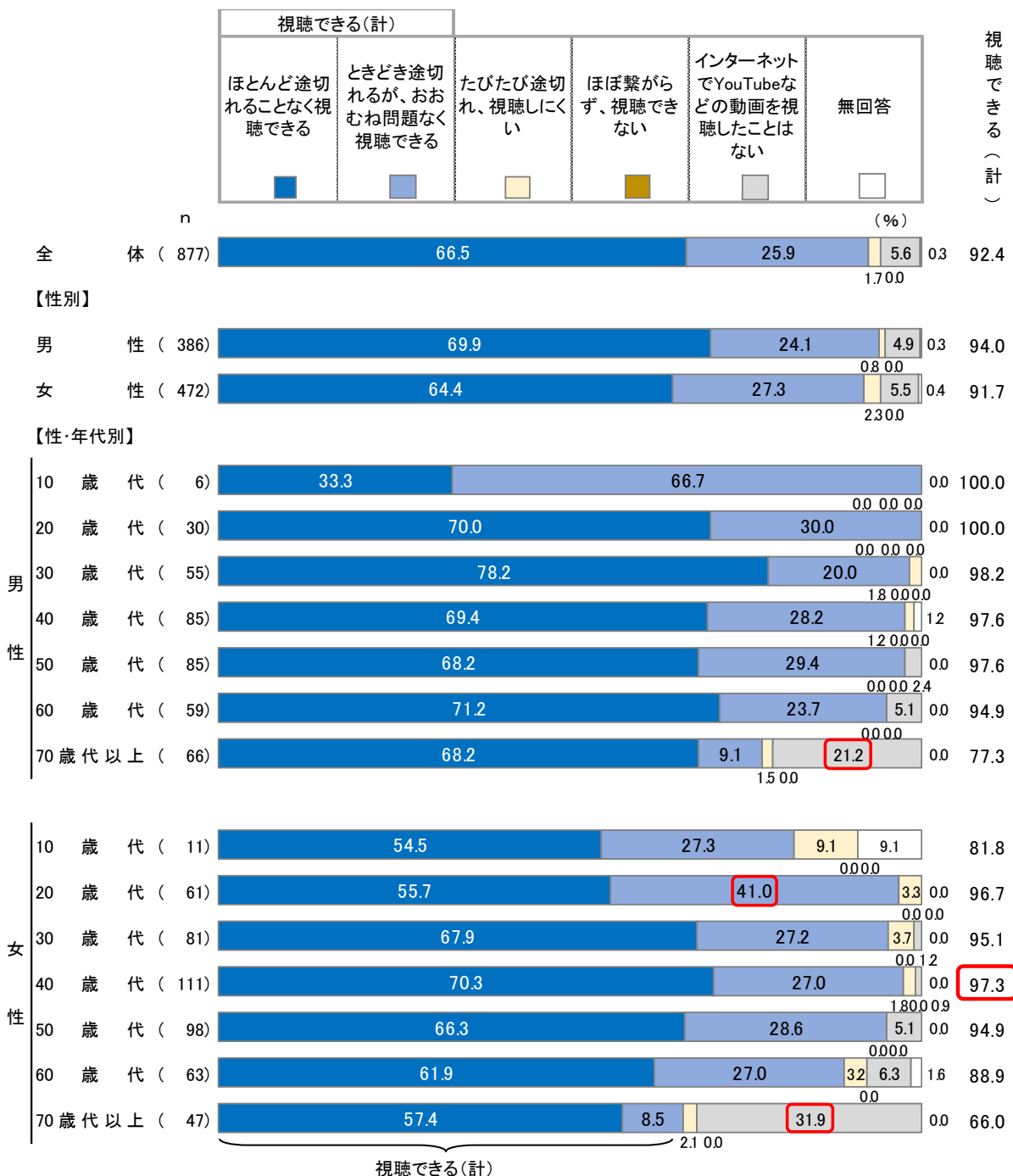
「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 6

⑤ 動画の視聴環境【性・年代別】

問 ① 利用有無で「はい」とお答えの方におたずねします。あなたのインターネット接続環境でYouTubeなどの動画を再生したとき、途切れることなく視聴することができますか。(単一回答)

性・年代別でみると、『視聴できる(計)』は女性の40歳代が97.3%と高く、有意差が見られた。

また、「インターネットでYouTubeなどの動画を視聴したことはない」は男性の70歳代以上(21.2%)と女性の70歳代以上(31.9%)で高く、それぞれ有意差がみられた。



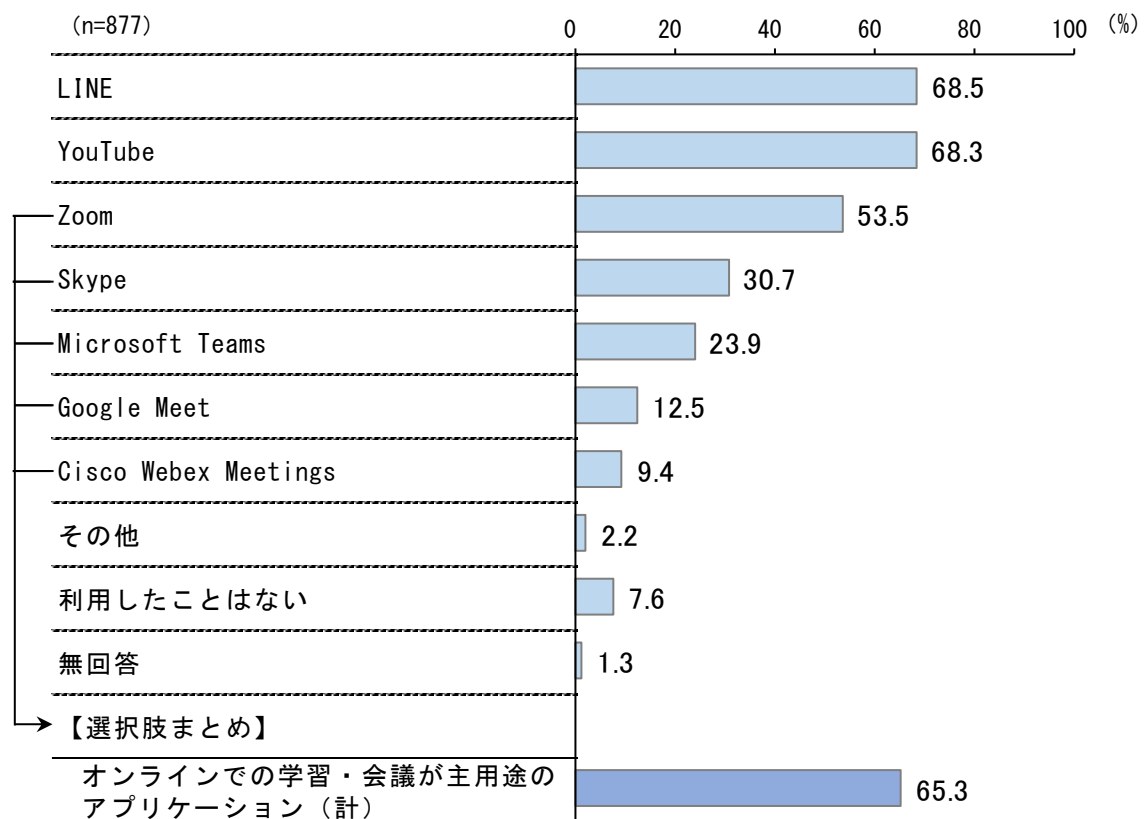
「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 7

⑥ 利用経験のあるアプリケーション【全体】

問 ①利用有無で「はい」とお答えの方におたずねします。次の選択肢はオンライン学習でよく使われるアプリケーションです。あなたが今までに利用したことのあるものはどちらですか。（複数回答）

「LINE」が68.5%と最も高く、次いで「YouTube」（68.3%）、「Zoom」（53.5%）と続いている。

「Zoom」（53.5%）、「Skype」（30.7%）、「Microsoft Teams」（23.9%）、「Google Meet」（12.5%）、「Cisco Webex Meetings」（9.4%）の5つをあわせた『オンラインでの学習・会議が主用途のアプリケーション（計）』は65.3%となっている。



注) 『オンラインでの学習・会議が主用途のアプリケーション（計）』は、「Zoom」、「Skype」、「Microsoft Teams」、「Google Meet」、「Cisco Webex Meetings」の5つの選択肢をまとめている。

「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 8

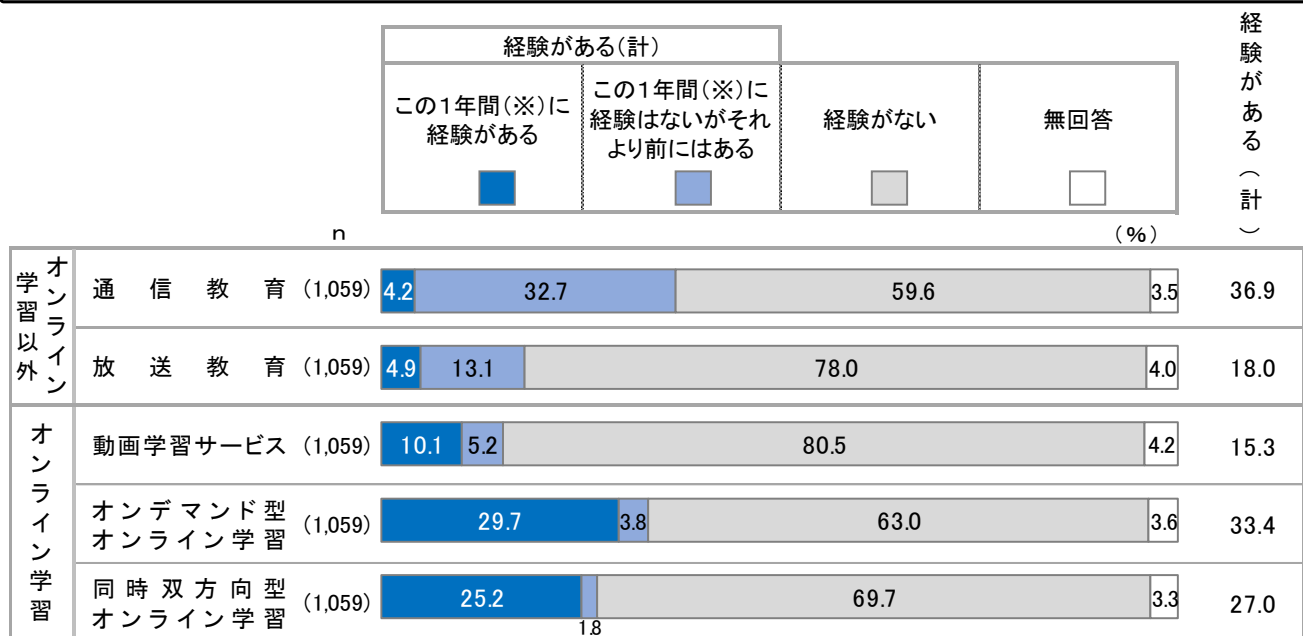
(2) オンライン学習の経験と希望について

① 学習方法別の実施経験【全体】

問 あなたは以下の学習方法を行った経験がありますか。(単一回答)

「この1年間(2020年1月以降)に経験がある」と「この1年間(2020年1月以降)に経験はないがそれより前にはある」の2つをあわせた『経験がある(計)』では、「通信教育」が36.9%と最も高く、次いで「オンデマンド型オンライン学習」(33.4%)、「同時双方向型オンライン学習」(27.0%)と続いている。

「この1年間(2020年1月以降)に経験がある」では、「オンデマンド型オンライン学習」が29.7%と最も高く、次いで「同時双方向型オンライン学習」(25.2%)、「動画学習サービス」(10.1%)と続いている。



(※)この1年間とは2020年1月以降を指します。

注) 学習方法の意味や内容の説明は以下のとおり。

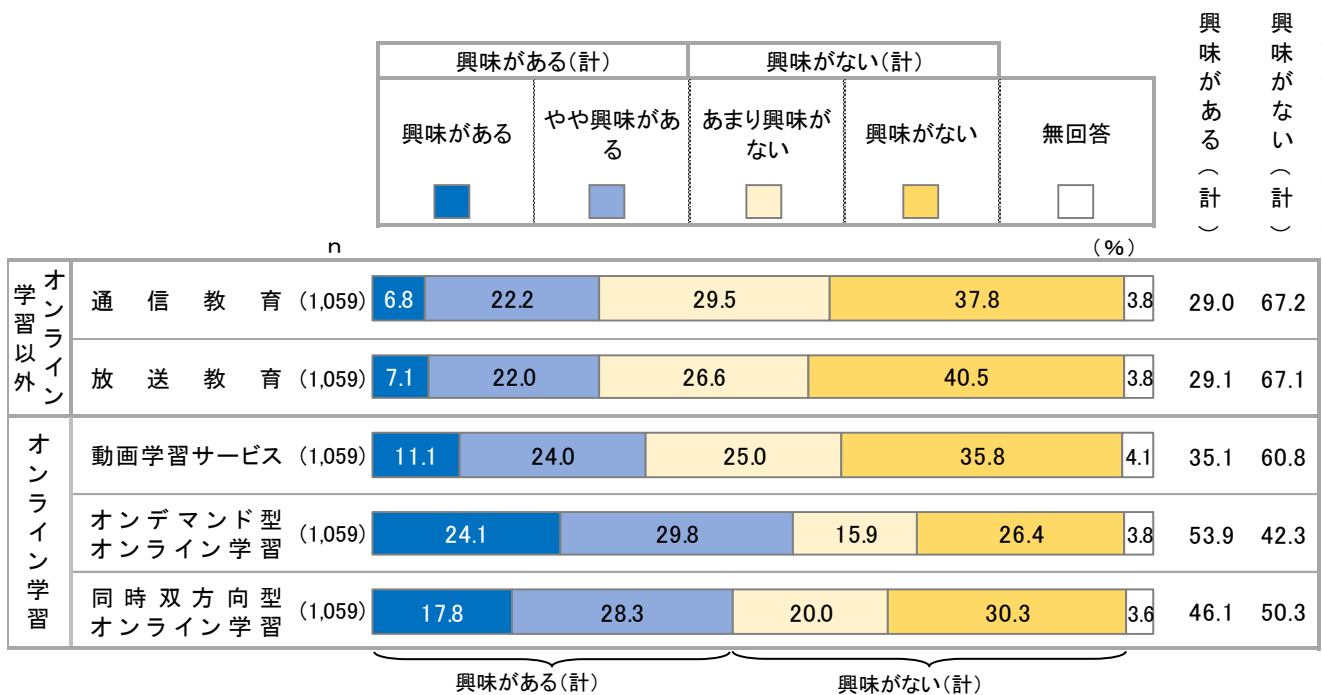
学習方法	意味や内容
オンライン学習以外	
通信教育	郵便などを利用して教材を受講者に送り、返送された解答を講師が添削指導し、質疑応答などを行う。
放送教育	テレビやラジオ番組を利用した通信教育。 主に NHK や放送大学などの公共放送が教育番組を制作している。
オンライン学習	
動画学習サービス	企業が制作したオンライン動画を好きな時間に見ながら学ぶ、主に有料のオンライン学習。 Schoo や Udemy などの企業サイトで配信されていて、利用料金を支払うことで視聴できる。
オンデマンド型オンライン学習	誰もが制作できるオンライン動画を好きな時間に見ながら学ぶ、主に無料のオンライン学習。 さまざまな分野の解説動画が YouTube やニコニコ動画などの動画共有サイトで配信されていて、再生数に応じて得られる広告料で運営されていることが多い。
同時双方向型オンライン学習	Zoom や Teams などのオンライン会議アプリケーションを利用するオンライン学習。 講師と複数の受講者全員の顔が見えて声も聞こえるので、リアルタイムで意見交換ができる。 一部の動画学習サービスのほか、学校のオンライン授業などにも導入され始めている。

「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 9

② 学習方法別の興味度【全体】

問 あなたは以下の学習方法に興味がありますか。(単一回答)

「興味がある」と「やや興味がある」の2つをあわせた『興味がある(計)』で見ると、「オンデマンド型オンライン学習」が53.9%と最も高く、次いで「同時双方向型オンライン学習」(46.1%)、「動画学習サービス」(35.1%)と続いている。



注) 学習方法の意味や内容の説明は以下のとおり。

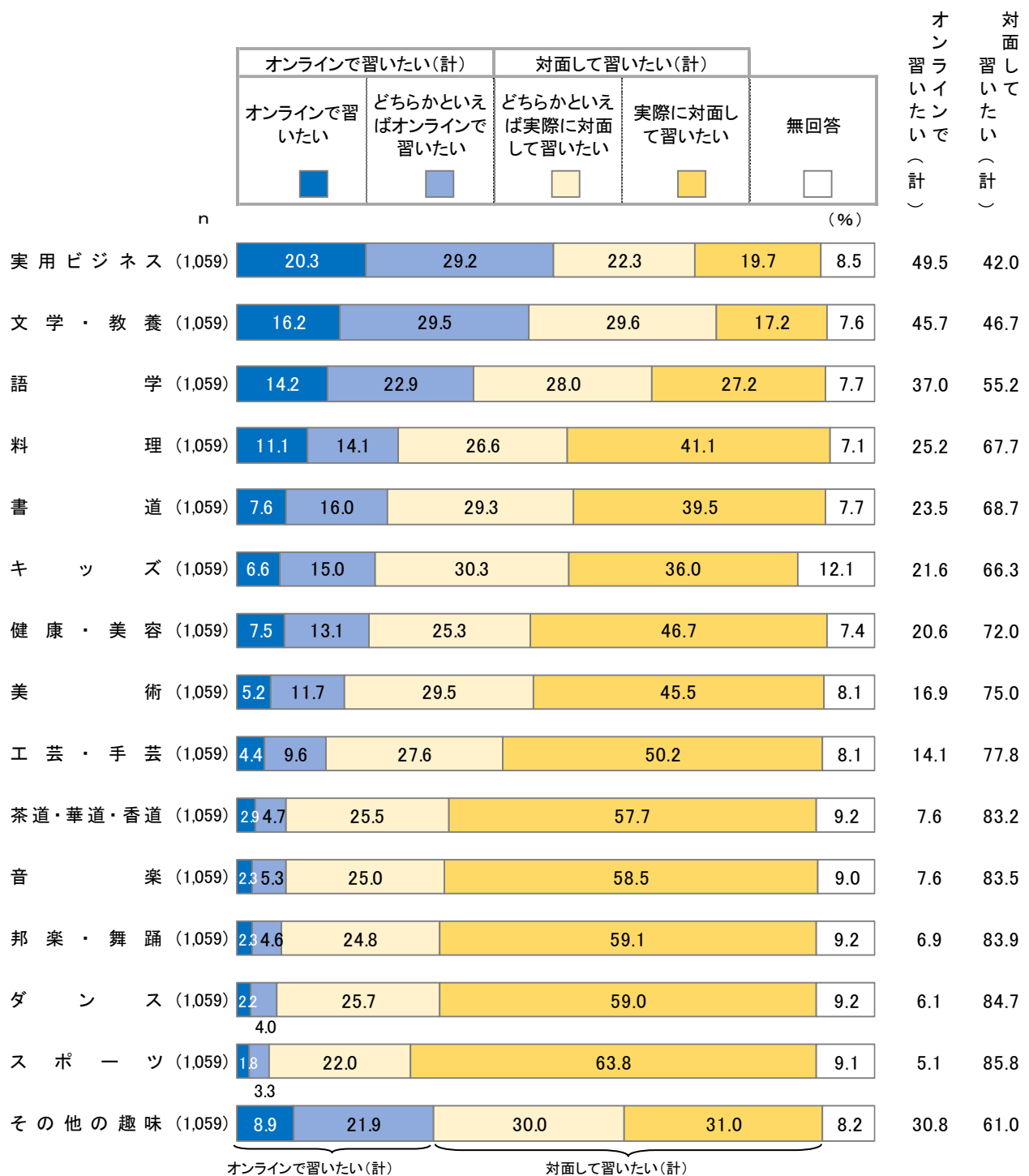
学習方法	意味や内容
オンライン学習以外	
通信教育	郵便などを利用して教材を受講者に送り、返送された解答を講師が添削指導し、質疑応答などを行う。
放送教育	テレビやラジオ番組を利用した通信教育。 主に NHK や放送大学などの公共放送が教育番組を制作している。
オンライン学習	
動画学習サービス	企業が制作したオンライン動画を好きな時間に見ながら学ぶ、主に有料のオンライン学習。 Schoo や Udemy などの企業サイトで配信されていて、利用料金を支払うことで視聴できる。
オンデマンド型オンライン学習	誰もが制作できるオンライン動画を好きな時間に見ながら学ぶ、主に無料のオンライン学習。 さまざまな分野の解説動画が YouTube やニコニコ動画などの動画共有サイトで配信されていて、再生数に応じて得られる広告料で運営されていることが多い。
同時双方向型オンライン学習	Zoom や Teams などのオンライン会議アプリケーションを利用するオンライン学習。 講師と複数の受講者全員の顔が見えて声も聞こえるので、リアルタイムで意見交換ができる。 一部の動画学習サービスのほか、学校のオンライン授業などにも導入され始めている。

「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 10

③ オンラインで習いたい学習分野【全体】

問 あなたが以下の学習分野について習うとしたら、オンラインで習いたいですか、それとも実際に対面して習いたいですか。（単一回答）

「オンラインで習いたい」と「どちらかといえばオンラインで習いたい」の2つをあわせた『オンラインで習いたい（計）』で見ると、「実用ビジネス」が49.5%と最も高く、次いで「文学・教養」（45.7%）、「語学」（37.0%）が続いている。

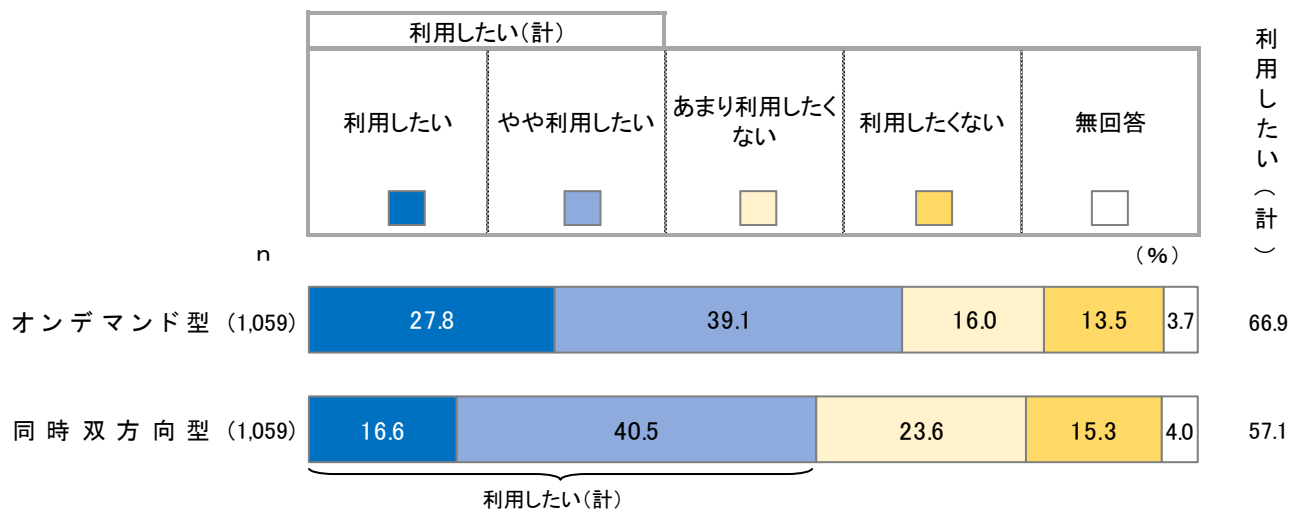


「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 11

④ オンデマンド型・同時双方向型の利用意向【全体】

問 オンライン学習には、大きくわけて以下の2つの学習方法があります。あなたがオンライン学習をするとしたら、それぞれどのくらい利用したいですか。（単一回答）

オンデマンド型は、「利用したい」（27.8%）と「やや利用したい」（39.1%）の2つをあわせた『利用したい（計）』が66.9%となっている。
同時双方向型は、「利用したい」（16.6%）と「やや利用したい」（40.5%）の2つをあわせた『利用したい（計）』が57.1%となっている。



注) 学習方法の意味や内容及び長所と短所の説明は以下のとおり。

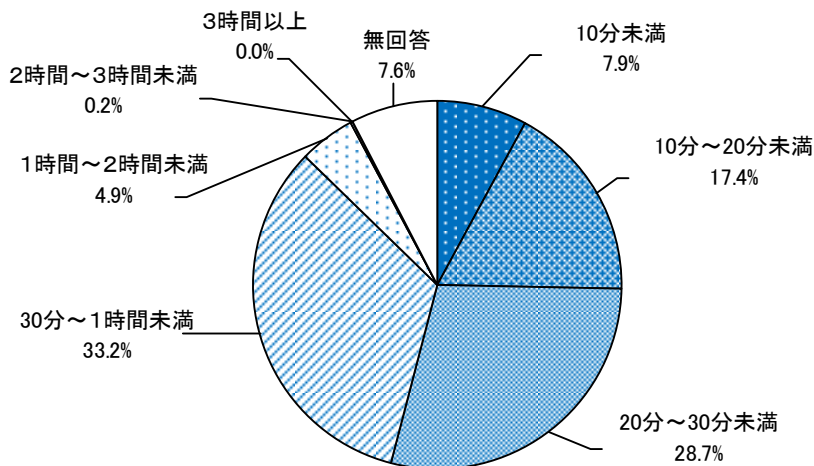
学習方法	意味や内容	長所と短所
オンデマンド型	YouTube などの動画共有サイトを利用して講師の解説動画を配信し、受講者は好きな時間に見ながら学習する。	<p>《長所》 受講者の都合にあわせて、好きな時間に学習できる。</p> <p>《短所》 講師と受講者が同時に意思疎通できないため、わからないところをすぐに聞くことができない。</p>
同時双方向型	Zoomなどのオンライン会議アプリケーションを利用して映像や音声を送受信し、講師と受講者がインターネット上で対面して、同時に意思疎通しながら学習する。	<p>《長所》 講師と受講者が同時に意思疎通できるため、わからないところをすぐに聞くことができる。</p> <p>《短所》 講師と受講者が同時参加しなければならないので、好きな時間に学習できない。</p>

「オンライン学習に関する意識調査」 報告書の概要 No. 12

⑤ オンデマンド型で希望する再生時間【全体】

問 あなたが「オンデマンド型」のオンライン学習をしたら、動画1本あたりどのくらいの再生時間がよいですか。（単一回答）

「30分～1時間未満」が33.2%と最も高く、次いで「20分～30分未満」（28.7%）、「10分～20分未満」（17.4%）が続いている。

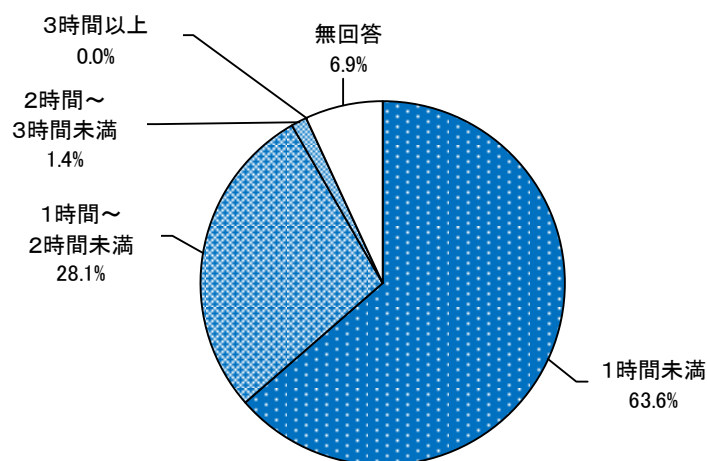


(n=1,059)

⑥ 同時双方向型で希望する講座1回あたりの時間【全体】

問 あなたが「同時双方向型」のオンライン学習をしたら、講座1回あたりどのくらいの参加時間がよいですか。（単一回答）

「1時間未満」が63.6%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」（28.1%）となっている。



(n=1,059)

「オンライン学習に関する意識調査」

報告書の概要 No. 13

(3) オンライン学習の将来について

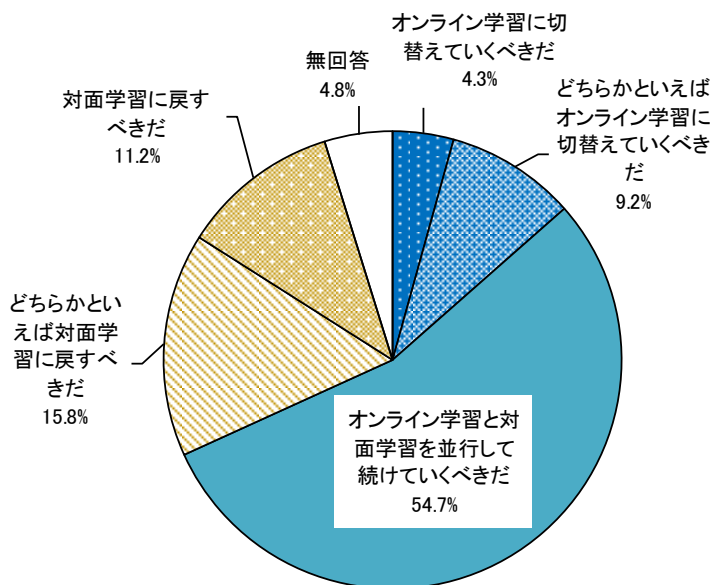
① オンライン学習への切替意向【全体】

問 あなたは今後コロナ禍が収束したとしても、対面学習からオンライン学習に切替えていくべきだと思いますか。それとも、対面学習に戻すべきだと思いますか。（単一回答）

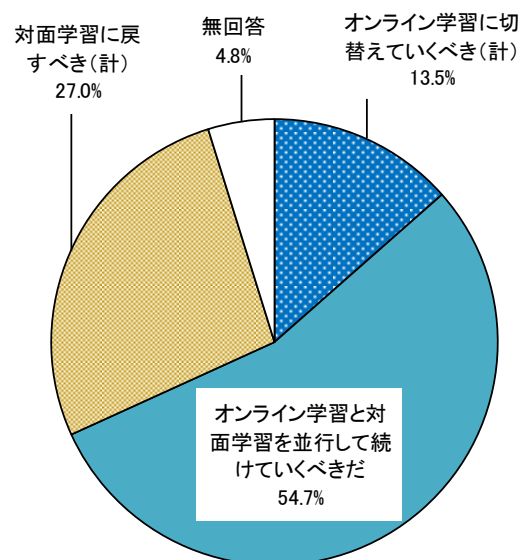
「オンライン学習と対面学習を並行して続けていくべきだ」が54.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば対面学習に戻すべきだ」（15.8%）、「対面学習に戻すべきだ」（11.2%）が続いている。

「オンライン学習に切替えていくべきだ」（4.3%）、「どちらかといえばオンライン学習に切替えていくべきだ」（9.2%）の2つをあわせた『オンライン学習に切替えていくべき（計）』は13.5%、「対面学習に戻すべきだ」（11.2%）と「どちらかといえば対面学習に戻すべきだ」（15.8%）の2つをあわせた『対面学習に戻すべき（計）』は27.0%となっている。

【合算】



(n=1,059)



注) 『オンライン学習に切替えていくべき (計)』 = 「オンライン学習に切替えていくべきだ」 + 「どちらかといえばオンライン学習に切替えていくべきだ」

注) 『対面学習に戻すべき (計)』 = 「対面学習に戻すべきだ」 + 「どちらかといえば対面学習に戻すべきだ」

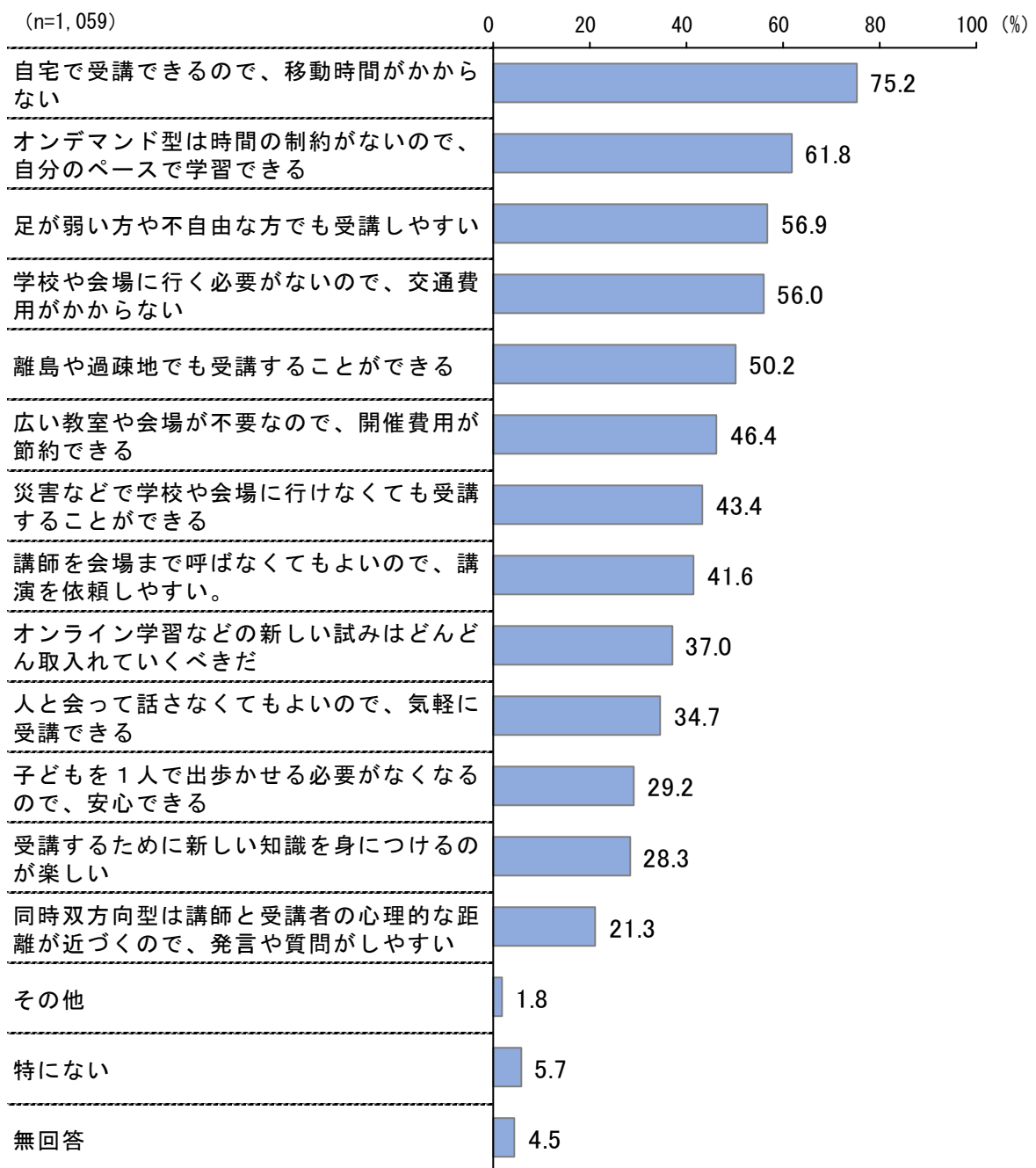
「オンライン学習に関する意識調査」

報告書の概要 No. 14

② オンライン学習に前向きな意見【全体】

問 次の選択肢はオンライン学習に「前向きな考え」といえるものです。あなたの考えに近いものはどちらですか。（複数回答）

「自宅で受講できるので、移動時間がかからない」が75.2%と最も高く、次いで「オンデマンド型は時間の制約がないので、自分のペースで学習できる」(61.8%)、「足が弱い方や不自由な方でも受講しやすい」(56.9%)、「学校や会場に行く必要がないので、交通費用がかからない」(56.0%)と続いている。



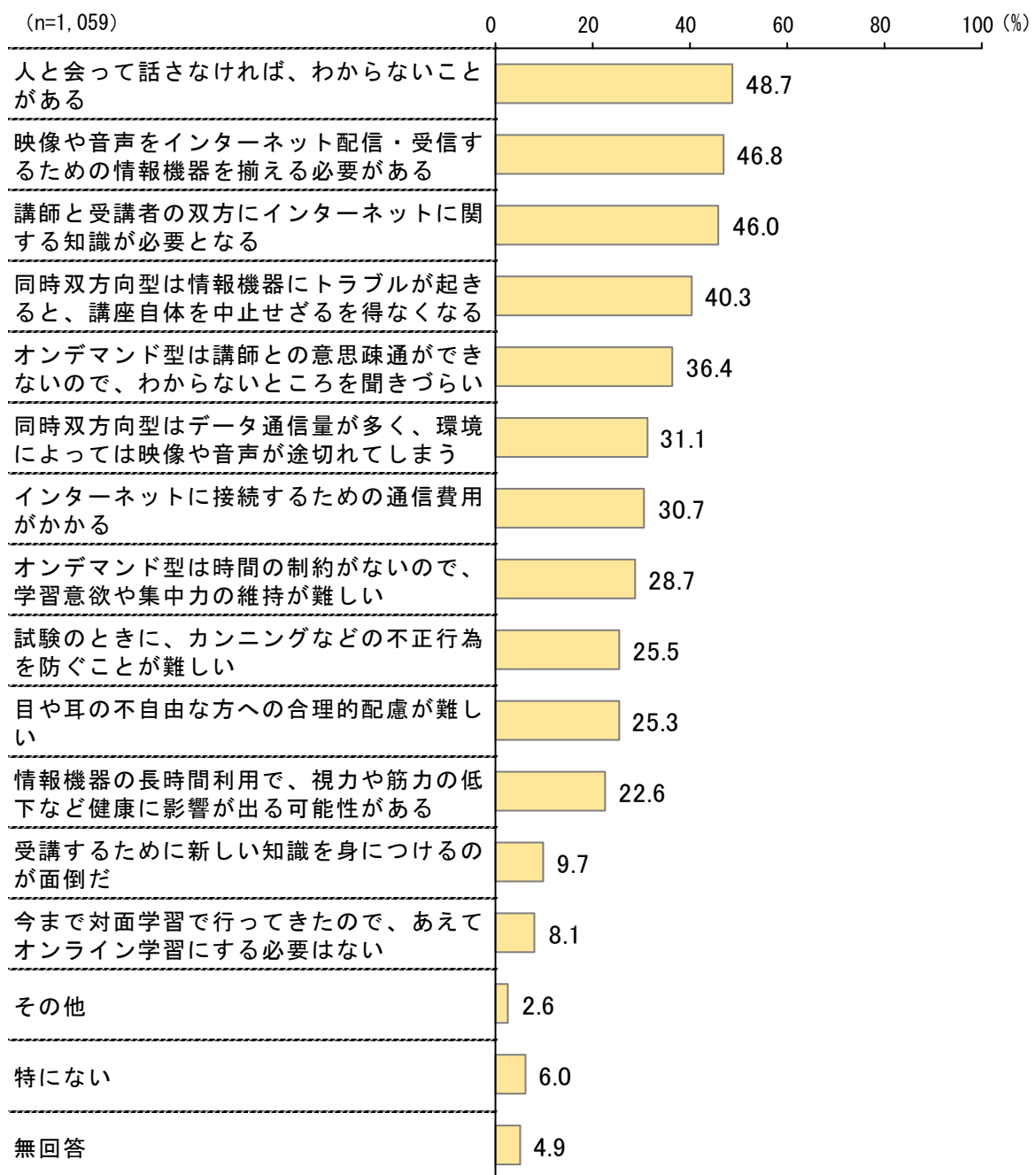
「オンライン学習に関する意識調査」

報告書の概要 No. 15

③ オンライン学習に後向きな意見【全体】

問 次の選択肢はオンライン学習に「後向きな考え」といえるものです。あなたの考えに近いものはどちらですか。（複数回答）

「人と会って話さなければ、わからないことがある」が48.7%と最も高く、次いで「映像や音声をインターネット配信・受信するための情報機器を揃える必要がある」（46.8%）、「講師と受講者の双方にインターネットに関する知識が必要となる」（46.0%）と続いている。



「オンライン学習に関する意識調査」

報告書の概要 No. 16

④ コンテンツ提供者へ行政が行うべき支援【全体】

問 オンライン学習コンテンツ（教材・解説動画・講座・イベントなど）を提供している方に対して、行政はどのような支援を行えばよいと思いますか。（複数回答）

「提供しているコンテンツ情報をまとめたポータルサイトをつくる」が46.3%と最も高く、次いで「提供方法について相談できる窓口を設け、情報を提供する」（37.4%）、「安定的に提供できるように、場所や機材を提供する」（36.7%）、「提供したい学校・個人・団体・企業を募集し、補助金や助成金を交付する」（32.5%）が続いている。一方で「行政が支援する必要はない」は、4.3%となっている。

